

平成27年度の事業計画書

I. 自主事業に関するもの

(1) 研究開発

1) 有用微生物の探索、糖脂質の解析及び利用技術の開発：グラム陰性菌の資源確保を行う。

①四国地域のみならず日本国内の農産物（オリーブ、カキ、ウメ、ミカン等）や発酵食品（オリーブ、カキ等）の糖脂質含量の測定および測定方法の検討を引き続き行う。

②上記産物からのグラム陰性菌の単離培養や利用技術調査を引き続き行う。

2) 糖脂質の糖鎖構造の解析（グライコリピドオーム解析）と利用技術の開発

①糖脂質の糖鎖構造解析としてレクチンアレイによる糖鎖解析を検討する。

②糖脂質の機能解析としては、マクロファージの自然免疫に関連するタンパク質や遺伝子群の発現により各糖脂質の層別化を引き続き行う。

3) メディシナルケミストリーに基づく糖脂質医薬品の基盤技術開発

①糖脂質評価系の確立に向け、運動機能や脳機能に対する評価モデル開発の検討を行う。

②0 抗原糖鎖合成関連酵素を欠損グラム陰性細菌を利用した低分子型 LPS の作製の検討を継続する。

③化学合成技術を用いたコア多糖部と脂肪酸を結合した糖脂質モデルの構築を継続する。

4) 付帯事業

①自然免疫と糖脂質のリテラシー形成を行うため、最新の研究を含めた講演会（シンポジウム）を企画し、企業や大学の研究者や一般市民を対象として開催する。講演会の画像については一般市民がホームページ上で見られるよう、特設サイトを開設する。

②各地域で一般市民に向けた自然免疫と糖脂質のリテラシー形成を目的としたセミナーを企画し開催する。

③一般市民が安心して健康な生活を送るために受け入れやすい製品の企画・調査を行う。

(2) 研究管理

○規約整備（研究成果の帰属に関する規約など）

II. 受託研究開発に関するもの

本組合では、「戦略的イノベーション創造プログラム（次世代農林水産業創造技術）」「研究領域名（5）新たな機能の開拓による未来需要創造技術 ①次世代機能性農林水産物・食品の開発」において、本組合では『iv) ホメオスタシス維持機能をもつ農林水産物・食品の機能性成分評価手法の開発と作用機序の解明』を代表研究機関として受託した。詳細は別紙を参照のこと。